

電話子機把持用自助具の製作

1 相談内容

相談者は、リウマチのため、太さがあり、重いものを持つのが大変とのことでした。普段の生活は2階で、電話が鳴っても1階まで行って受話器を取れないため、電話子機を使っているが持ちづらくなってきた。そこで何とか電話子機を手で把持できる自助具はないか、作ってもらえないかという、ご相談がありました。

2 利用者プロフィール

60代女性、リウマチにより両上肢障害著明であり、身体障害者手帳2級、要介護度3です。趣味で刺繍をしており、以前、刺繍枠の自助具の依頼があった方です。

3 対応

透明アクリル板に熱処理を施し、電話子機が差し込めるように曲げ、ホルダー部分を製作しました。ホルダー部分は電話子機を抜き差ししやすいように多少の遊びをもたせました。また、電話子機を把持できるように柄の部分は円筒にし、細く持ちやすくしました。



持参された電話子機



製作した自助具

4 結果

本人は右手で、電話子機を装着した、この自助具を持ち、左手を右手の下に添えて、問題なく使用することができました。柄の部分は円筒で細いので、とても使いやすいという感想をいただきました。